

前回の分科会における主なご意見

項目	主なご意見(概要)
全般	<p>(教育関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○雪国で暮らす教育を長期に渡り行うことで、除雪の協力や地域防災力の向上につながる。 <p>(技術開発関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○技術開発・ソフト開発は、学識経験者等と連携を図ることが重要。 ○雪処理に関する製品等の規格化・標準化を進め、コストダウンに繋げてほしい。 ○個別の技術は進んでいるが、有効な技術を定着するような対応が遅れている。 <p>(再生可能エネルギー関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豪雪地帯対策には、バイオマス発電利活用の視点も重要。 <p>(観光関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海外観光客の誘致について、情報発信の仕方を工夫しながら施策の支援を進めてほしい。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最近の短期間に降るゲリラ豪雪をどう対応するかが課題。
3-1:除排雪の体制の整備	<p>(①共助除排雪体制の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学では防災リーダー育成を手がけているので、国も支援してほしい。 <p>(②安全対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○除雪作業中に周囲が見守る仕組みが必要。 ○雪による被害は、屋根からの転落だけが原因ではないことに留意。 ○命綱固定アンカーを設置していない建物における安全対策も強化すべき。 ○命綱固定アンカーを設置することを前提とした建築物の強度を確保する制度があれば、より命綱が普及するのではないか。 ○様々な住宅に対応できる命綱固定アンカー等の開発・補助が必要。
3-3 雪冷熱エネルギーの活用促進	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使われていない既存施設を雪室に利用する施策も、イニシャルコストの面からも重要。
3-4 集中的降雪時の道路交通の確保	<p>(⑤情報提供・注意喚起)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路管理者ごとに情報を保持するのではなく、情報はしっかり共有すべき。 ○スタックが発生しやすい等、道路気象管理情報を流してあげることが重要。 ○リアルタイムな情報提供等、通信技術の更なる普及が地域力を高めるためにも必要。 ○雪のない時期にも、道路のリスクを知らせておく必要がある。 ○コンビニ、ガソリンスタンドなど沿線住民の協力を仰ぎ、道路情報を収集することも重要。 ○ホワイトアウト等の視界確保のため、道路にカラーペイント等を行い、安全性を向上すべき。 <p>(⑦災害対策基本法の適用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災対法適用の効果と合わせて、渋滞発生、所要時間増大など雪がもたらす地方交通の課題について効果検証できるとさらによい。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○除雪しにくいトンネルの坑口・通学路に地中熱を使ったロードヒーティングの設置を促進すべき。 ○歩道・自動車道に配慮した道路除雪を行ってほしい。